

令和5年度板橋区子ども家庭総合支援センターの運営状況について

※令和5年4月から令和6年3月末までの速報値

1 子ども家庭総合支援センターの相談受付状況

- ・区民からの子どもや子育てに関する相談は支援課(子ども家庭支援センター機能)、関係機関からの児童虐待通告等は援助課(児童相談所機能)が窓口となり相談受理を行い、支援課・援助課合同で全ケースを緊急受理会議等において、役割分担や援助方針を決定し、支援・援助を実施している。
- ・相談種類は、前年度と比較して、養護相談(虐待相談を除く)が大幅に増加している。
- ・相談経路は、前年度と同様、家族・親戚からの相談と警察からの通告(心理的虐待)の割合が高くなっている。

(1) 相談種類別受付件数

		支援課	援助課	合 計
児童虐待相談		117 件(348 件)	1,103 件	1,220 件
内 訳	身体的虐待	24 件(75 件)	236 件	260 件
	性的虐待	1 件(2 件)	6 件	7 件
	ネグレクト	59 件(94 件)	132 件	191 件
	心理的虐待	33 件(177 件)	729 件	762 件
養護相談(虐待相談除く)		1,053 件(744 件)	435 件	1,488 件
障がい関係相談		23 件(39 件)	※264 件	287 件
非行相談		12 件(8 件)	122 件	134 件
育成相談		361 件(344 件)	52 件	413 件
その他		279 件(194 件)	88 件	367 件
合 計		1,845 件(1,677 件)	2,064 件	3,909 件

※支援課の()内は、令和4年度同時期の件数である。援助課は令和4年7月開所のため()内の記載はない

※援助課の「障がい関係相談」は愛の手帳の判定による相談が大半を占める

(2) 相談経路別相談受付件数

所 属 (割 合%)	都道府県・指定市・ 中核市				市 町 村				児童福祉施設・ 指定発達支援医療機関			児 童 家 庭 支 援 セ ン タ ー	認 定 こ ど も 園	警 察 等	家 庭 裁 判 所	保健所及び 医療機関		学校等			里 親	児 童 委 員	家 族 ・ 親 戚	近 隣 ・ 知 人	児 童 本 人	そ の 他	計
	児 童 相 談 所	福 祉 事 務 所	保 健 セ ン タ ー	そ の 他	福 祉 事 務 所	児 童 委 員	保 健 セ ン タ ー	そ の 他	保 育 所	児 童 福 祉 施 設	指 定 発 達 支 援・ 医 療 機 関					保 健 所	医 療 機 関	幼 稚 園	学 校	教 育 委 員 会							
支 援 課	18	43	0	13	121	0	160	17	231	22	0	0	0	7	0	0	29	20	192	62	0	0	771	36	31	72	1,845
	1.0	2.3	0.0	0.7	6.6	0.0	8.7	0.9	12.5	1.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	1.6	1.1	10.4	3.3	0.0	0.0	41.8	1.9	1.7	3.9	100.0
援 助 課	76	27	14	4	1	0	3	3	53	6	0	0	0	854	10	2	30	4	151	20	0	1	394	167	30	214	2,064
	3.7	1.3	0.7	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	2.6	0.3	0.0	0.0	0.0	41.4	0.5	0.1	1.5	0.2	7.3	1.0	0.0	0.0	19.1	8.1	1.4	10.4	100.0
合 計	94	70	14	17	122	0	163	20	284	28	0	0	0	861	10	2	59	24	343	82	0	1	1,165	203	61	286	3,909
	2.4	1.8	0.3	0.4	3.1	0.0	4.2	0.5	7.3	0.7	0.0	0.0	0.0	22.0	0.3	0.1	1.5	0.6	8.8	2.1	0.0	0.0	29.8	5.2	1.6	7.3	100.0

(3) 一時保護(委託)の状況

(単位:人)

	学齢前	小学生	中学生	高校生	合計
一時保護(区一時保護所)※	23	57	64	39	183
一時保護委託	29	6	14	18	67
他区一時保護所	4	1	2	5	12
乳児院	10	0	0	0	10
児童養護施設	2	1	2	2	7
里親	1	1	1	2	5
児童自立支援施設	0	0	1	0	1
医療機関	9	2	6	8	25
障害児関係施設	3	1	1	0	5
自立援助ホーム	0	0	0	1	1
ファミリーホーム	0	0	1	0	1
計	52	63	78	57	250

※板橋区の児童 183 人の他、都児相や他区児相から 19 人の児童を受託した

2 社会的養育の状況について

(1) 施設養育

(単位:人/令和6年3月31日時点)

	学齢前	小学生	中学生	高校生	18歳以上	合計
乳児院	10	0	0	0	0	10
児童養護施設	28	44	39	35	1	147
児童自立支援施設	0	2	3	0	0	5
児童心理治療施設	0	1	0	0	0	1
知的障害児施設	1	2	2	2	1	8
肢体不自由児施設	0	1	0	1	0	2
重症心身障害児施設	0	1	0	0	0	1
自立援助ホーム	0	0	0	4	2	6
計	39	51	44	42	4	180

(2) 家庭養育

(単位:人/令和6年3月31日時点)

	学齢前	小学生	中学生	高校生	18歳以上	合計
養育家庭	6	4	2	4	1	17
専門養育家庭	0	0	0	0	0	0
親族里親	0	1	0	1	0	2
養子縁組里親	1	1	0	0	0	2
ファミリーホーム	0	1	0	0	0	1
計	7	7	2	5	1	22

(3) 板橋区における家庭養育の状況

(令和6年3月31日時点)

養育家庭			専門養育家庭			親族里親			養子縁組里親			合計		
登録家庭数 (件)	児童の委託家庭数 (件)	委託児童数 (人)	登録家庭数 (件)	児童の委託家庭数 (件)	委託児童数 (人)	登録家庭数 (件)	児童の委託家庭数 (件)	委託児童数 (人)	登録家庭数 (件)	児童の委託家庭数 (件)	委託児童数 (人)	登録家庭数 (件)	児童の委託家庭数 (件)	委託児童数 (人)
28	13	16(10)	2	1	1(0)	1	1	2(2)	22	5	5(1)	53	20	24(13)

※委託児童数については、東京都や他区の児童を含む。()は板橋区内の児童数

※養子縁組里親のうち、4家庭は養育家庭と二重登録している

3 一時保護所の入所状況について

(1) 在籍児童数

(単位:人/各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍児童数(定員30名)	27	25	33	29	25	31	30	32	29	29	26	20
内訳	乳幼児(定員6名)	4	2	5	4	4	7	7	8	6	5	4
	学齢女子(定員12名)	12	13	15	11	9	10	10	11	12	13	8
	学齢男子(定員12名)	11	10	13	14	12	14	13	13	11	9	8

※一日当たりの平均在籍児童数(26名) / 一時保護所の定員数(30名) = 平均入所率(87%)

※一人当たりの平均保護日数:47日

(2)新規入所児童数

①新規入所児童数

		児童数(人)
新規入所児童数(A)		202
内訳	乳幼児	27
	学齢女子	92
	学齢男子	83
(A)のうち身柄付入所		81
(A)のうち都、他区からの委託		19

③乳幼児及び学校種別・新規入所児童数

入所時点の学年	児童数(人)	割合
乳幼児	27	13.4%
小学生	68	33.7%
中学生	67	33.2%
高校生	39	19.3%
その他	1	0.4%
合 計	202	—

②主訴別・新規入所児童数

主 訴	児童数(人)
児童虐待（身体的虐待）	49
児童虐待（ネグレクト）	37
児童虐待（性的虐待）	0
児童虐待（心理的虐待）	31
養護相談（その他）	37
保健相談	0
障がい相談	0
非行相談	34
育成相談	14
その他の相談	0
合 計	202

(3)一時保護解除の状況

退所先	児童数(人)
児童福祉施設入所	31
里親委託	5
他の児童相談所・機関へ移送	27
家庭裁判所送致	0
帰宅	121
その他	19
合 計	203

※令和5年4月1日から令和6年3月31日の間に一時保護所を退所した状況

4 家庭裁判所への申立ケース等について

児童福祉法	申立件数	承認件数	備 考
第 28 条(施設入所措置等・新規)	3 件	4 件	取り下げ 1 件
第 28 条(施設入所措置等・更新)	0 件	0 件	
第 29 条(立入調査)	0 件	0 件	
第 33 条 5 項(2 か月以上の親権者等の意に反する一時保護)	4 件	1 件	取り下げ 3 件
第 33 条の 6 の 4(特別養子適格の確認請求)	2 件	0 件	
第 33 条の 7(親権停止等の請求)	0 件	0 件	
第 33 条の 8(未成年後見人選任の請求)	2 件	0 件	

5 要保護児童対策地域協議会について

○要保護児童対策地域協議会の機能拡充を図るため、支援課地域連携推進係を中心に、要保護児童等に関する情報共有及び支援内容について、三層構造からなる会議体で協議を実施した。

① アウトリーチ(関係機関訪問)概要

学校、保育園などの関係機関へ訪問し、所属の支援対象児童について、直近の状況をヒアリングするとともに、所属に潜在している被虐待児童等の掘り起こしを行った。また、「板橋区子ども家庭支援指針(板橋区児童虐待防止対応ガイドライン)」について周知・啓発し、児童虐待等の初動対応の流れ等の共有を行った。

令和5年度については、関係機関の拡充として、小規模保育園を追加したことで、既存機関を含む約370機関との情報共有を図った。

会議名	回数	開催月
代表者会議	2回	第1回:6月28日(水) 第2回:2月 6日(火)
実務者会議	前期22回・後期22回 (中学校区ごとで実施)	前期 7月～9月 後期 1月～3月
関係機関訪問(アウトリーチ)	各関係機関へ訪問し情報共有 (約370機関)	前期 4月～ 7月 後期 10月～12月
個別ケース検討会議	84回 (支援課35回 援助課49回)	年間通じて実施

② 出欠状況調査の一部 DX 化について

学校、保育園への虐待ケース児童の登校・登園状況に関する「出欠状況調査」(毎月実施)について、クラウドサービスを導入し、クラウド上で一括して情報共有が可能となった(区立の保育園、幼稚園、私立の保育園、幼稚園への運用を開始)。

6 子どもの権利擁護の取組みについて

(1)子どもの意見表明支援(子どもアドボケイト)

・ 概要

行政機関から一定の独立性を持ち、児童の立場に立って、子どもの意見表明を支援する。一般社団法人「子どもの声からはじめよう」と覚書を締結し、子どもアドボケイトの派遣を受けて事業を実施する。

・ 主な業務内容

①定期訪問アドボカシー

隔週土曜日に、子どもアドボケイトが一時保護所を訪問し、入所中の児童の意見を聴取するとともに、児童の生活等に関して、権利擁護及び福祉サービスの向上の視点から、一時保護所に対して提案を行う。

令和6年度からは、毎週土曜日の正午から午後4時に拡充するとともに、一時保護所を入退所する児童に対して、当該決定についての意見聴取を実施する。

②個別訪問アドボカシー

児童相談所の支援に関わる全ての児童を対象に、意見を表明したい旨の申出があった際に、区の指示を受けて、子どもアドボケイトが施設等に訪問し、児童の意見を聴取する。

・ 令和5年度活動実績

①定期訪問アドボカシー(28回実施)

実施日	アドボケート 訪問人数	意見表明 件数	その他面談 件数	備考
4月1日	5人	2件	3件	
4月15日	6人	5件	3件	
4月29日	7人	0件	6件	
5月6日	5人	4件	6件	
5月27日	7人	0件	5件	
6月10日	7人	3件	0件	
6月17日	7人	5件	3件	
7月8日	7人	2件	4件	
7月22日	8人	5件	3件	
8月5日	7人	0件	4件	
8月19日	6人	1件	3件	
9月2日	—	—	—	一時保護所内でコロナ感染者多数発生のため中止
9月16日	7人	1件	3件	
9月30日	5人	0件	2件	
10月14日	6人	0件	4件	
10月21日	6人	0件	7件	
11月11日	7人	1件	3件	
12月2日	8人	2件	7件	
12月9日	5人	1件	4件	
12月16日	6人	0件	5件	
1月6日	7人	0件	6件	
1月27日	6人	2件	3件	
2月3日	6人	4件	5件	
2月17日	8人	3件	7件	
3月2日	9人	0件	4件	
3月9日	8人	0件	6件	
3月16日	7人	1件	3件	
3月23日	7人	6件	1件	
3月30日	7人	0件	4件	
合計	187人	48件	114件	

②個別訪問アドボカシー:0回

(2)被措置児童等虐待の調査(子どもの権利擁護調査員)

・ 概要

被措置児童等虐待が発生した場合等、第三者の公正中立な立場から関係機関の調査を行い、児童福祉審議会に報告を行う。(板橋法曹会から弁護士1名、東京社会福祉士会から社会福祉士1名の推薦を受けて実施)

・ 主な業務内容

被措置児童等虐待が発生した場合等、区の指示を受けて、子どもの権利擁護調査員が、区職員とともに児童福祉施設等に訪問し、児童・職員への聴き取り等の調査を実施する。

・ 令和5年度活動実績なし